

2016年11月14日発行 NO.20

「社会保障の解体は許さない！憲法を守りいかす社会をつくろう！！」

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース

－介護の“Big Wave”を広げよう！－

11月10、11日に行われた、全日本民医連 介護・福祉責任者会議でメッセージボードを掲げました。



介護の日（11日）を前後して様々な取り組みが各地で行われました！！

青森民医連から

青森では民医連では、10月30日に「秋の看護介護ウェーブ」を行いました。「介護ボード」「署名」「チラシ」や県連独自の作成の「ポケットティッシュ」などのグッズでアピールしました。介護職員アイデアのクイズコーナーも行われ、「11月11日は何の日？」などの質問をしていました。質問に答えてくれた方には利用者さんが作ったミニ金魚ねぶたを手渡しました。途中大雨強風になり、通行人も途絶えてしまい途中で断念しましたが、80名の参加でアピール行動をしました。現在まで利用者ひと言カードを58枚集めました。



【お願い】

11月24日は、介護・福祉部で行う国会行動を予定しています。具体的な事例や、利用者・家族の声をもち寄ろう！！

埼玉民医連から



まずは 11 月 7 日の西部地域行動で、所沢駅東口で請願署名、介護保険改悪チラシ配りを行いました。署名は 37 筆、ピラは 70 枚配布しました。署名してくれた方からは「実際にもう困っている、ダイレクトに影響しているよ。」「あなたたちの給料上げなきゃねえ、頑張りなさいよ。」「介護保険制度自体廃止してほしい。」「ここでやるのも大事だが、国会に行って交渉できるといいのにな。」など話してくれました。いつもタ方から署名を行っていたが、帰宅を急ぐ世代よりも、高齢者の方にターゲットを絞りを、昼の 13 時から行動にしました。やはり高齢者の方が置くおり、興味をもっていただける方もいました。11 月 10 日には、中部地域でも署名を行い、



北部ではスタンディングを実施しました。11 月 11 日には、北部地域、南部地域でもスタンディング行動を行いました。



島根民医連から



島根民医連では、介護福祉委員会で初めて介護ウェブの街頭宣伝を行いました。

11 月 5 日県連学術交流集会終了後に出雲駅前に移動し宣伝を行いました。初の試みにも関わらず、参加者は 6 院所 13 名、30 分ほどで署名 17 筆を集めることが出来ました。



当日、県連担当理事の徳永事務長（斐川生協病院）が終始街頭で訴えました。「2015 年度制度改悪で利用者と家族の困難が広がっています。2018 年度、保険給付の縮小や利用料 2 割負担の対象拡大が進められようとしています、また、軽度の方のデイサービスなどを市町村が実施する「総合事業」に移していく方針を変えていません。」と。全日本民医連から届いたばかりのチラシを配り署名をお願いしました。また書名ボードにメッセージを貼り、視覚でも訴えることが出来ました少しづつでも、介護ウェブで実施する事を増やしていけたらとおもっています。



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：東、小又

TEL：03-5842-6451／FAX：03-5842-6460 E-mail：min-kaigo@min-iren.gr.jp